

## 主な受章・受賞

(2011年8月～2012年7月)

### 平成23年 秋の叙勲 (旭日大綬章)

2011.11 受章

藤田 宙靖 名誉教授

1966年から2002年まで、東北大学法学部助教授・教授、法学研究科教授として、また2002年9月から2010年4月まで、最高裁判所判事として活躍。専攻は行政法学で、土地法・憲法などにも造詣が深く、わが国の行政法学の発展に多大な貢献をした。最高裁判事としての業績も、実務面・理論面で高く評価されている。主著として、『公権力の行使と私的権利主張』(1978年)『行政法(総論)』(初版1980年、第4版・改訂版2005年)、『行政法の基礎理論 上巻・下巻』(2005年)などがある。



### 平成24年 春の叙勲 (瑞宝大綬章)

2012.4 受章

阿部 博之 元総長・名誉教授

1996年11月から2002年11月まで、東北大学総長として本学の発展に貢献。専門は機械工学(機械材料・材料力学)。2003年1月-07年1月、総合科学技術会議議員、2007年1月科学技術振興機構顧問、2009年11月同機構知的財産戦略センター長に就任している。

### 平成23年 秋の紫綬褒章

2011.11 受章

未来科学技術共同研究センター 小柳 光正 教授

高集積・大容量半導体メモリー DRAMの基本素子であるスタックド・キャパシタ型メモリセル(スタックセル)を発明。日本および世界の半導体産業の発展に多大な貢献をしている。1989年に三次元集積型集積回路を提案、以来この分野で世界を主導している。半導体技術とナノテクノロジー、バイオテクノロジーを融合したバイオデバイス工学分野の研究にも積極的に取り組み、多くの研究者および技術者の養成にも尽力している。



### 平成24年 春の紫綬褒章

2012.4 受章

東北メディカル・メガバンク 山本 雅之 機構長

刻々と変化する環境の中で生体が生命活動を維持するために保持する環境応答機構が、センサー分子Keap1と転写因子Nrf2により制御されることを発見。ストレスを感じたKeap1がNrf2を活性化して多くの生体防御酵素群を誘導発現する仕組みを解明するなど、環境応答機構研究領域におけるフロンティアを開拓している。



流体科学研究所 圓山 重直 教授

ふく射伝熱の研究など熱工学の分野で顕著な業績を挙げ、さらに熱電素子を用いた能動伝熱制御による人工心筋やクライオプローブの開発、大規模自然対流を応用した海洋深層水の汲上げプロジェクトなど先駆的な研究を行っている。このように、機械工学の一分野である熱工学を深化させただけでなく、熱工学の新しい研究パラダイムを築きあげている。



### トムソン・ロイター引用栄誉賞

2011.9 受賞

電気通信研究所・省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター 大野 英男 教授

受賞理由は「希薄磁性半導体における強磁性の特性と制御に関する研究」によるもの。本賞は学術文献引用データベースWeb of Scienceをもとに、被引用件数が極めて大きいハイインパクトな論文を発表した研究者の中から選出されるもので、学術論文の被引用件数とノーベル賞受賞者に対する評価とは強い相関関係があることから、「ノーベル賞有力候補者」として発表されている。



### レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ

2011.10 受章

工学研究科 原山 優子 教授

1802年にナポレオン・ボナパルトによって創設された栄典制度。文化・科学・産業・商業など様々な分野における民間人の卓越した功績を表彰するもので、シュヴァリエ(Chevalier)はその等級を示す。科学技術政策の分野における研究活動、総合科学技術会議の議員としての活動、日仏交流の推進、フランス産業界への貢献、日仏の次世代を担う若者育成への貢献等が評価された。

### 第25回 日本IBM科学賞

2011.11 受賞

■物理分野/金属材料研究所 齊藤 英治 教授

スピンホール効果/逆スピンホール効果の先駆的な研究とスピン流物理への寄与が評価されたことにより受賞。この賞はノーベル賞受賞科学者等による審査を経て、物理、化学、コンピューター・サイエンス、エレクトロニクスの4分野において優れた基礎研究を行っている国内の45歳以下の研究者に与えられる。



■コンピューター・サイエンス分野/情報科学研究科 住井 英二郎 准教授

高度な機能を備えた幅広い言語におけるプログラム等価性の証明手法を世界で初めて確立したことにより受賞。その研究成果はコンピューター・サイエンスにおいて最高峰とされる論文誌Journal of the ACMなどに掲載されている。

### 2012年度フレデリック・スタンレー・キッピング賞

2012.3 受賞

理学研究科 吉良 満夫 名誉教授

トリシラアレンの合成・単離・性状解明の業績により受賞。この賞はアメリカ化学会の賞で、フレデリック・スタンレー・キッピングの功績を記念して1960年に設立、ケイ素化学分野にすぐれた功績をあげた研究者に授与される。理学研究科では、櫻井英樹名誉教授について2人目の受賞。

